

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 26 年度 第 8 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 12 月 17 日(水) 19:00～21:15

場 所：都臨技事務所

議 長：千葉

書 記：中村

出席者：千葉、原田、杉岡、宮崎、小山、佐藤、工藤、松村、星野、宿谷、米山、浄土、中村、櫻井、東海林監事、
立花監事 計 16 名

1. 理事行動報告

- ・ 11 月 17 日 (月) 学術部会 中西、宿谷、米山、相馬、星野
- ・ 11 月 27 日 (木) 編集委員会 宿谷、星野、相馬
- ・ 12 月 1 日 (月) 表彰選考委員会 佐藤、工藤、宿谷、中村
- ・ 12 月 5 日 (金) 支部業務連絡委員会 小山、三橋、佐藤、杉岡、星野
- ・ 12 月 8 日 (月) 会計部 工藤、浄土
- ・ 12 月 12 日 (金) 地域保健共催部会 多田、櫻井

2. 議事録確認

- ・ 平成 26 年度 第 7 回理事会議事録内容を確認、修正後承認する。

3. 報告事項

○各部局・委員会 報告

1) 学術部

- ・ 平成 27 年度支部研修会年間計画について
研修会参加率を上げるため、各支部には 7 月分までの会場と日程の決定を依頼する。
- ・ 実技講習会における備品の保険加入について
実技講習会で備品破損が生じた場合に保障される保険・日臨技パートナーに加入申請の依頼があった (一日 120 円)。
今年度の該当研修会として一般検査研究班の実技講習会が 2 月 1 日開催予定である。
今後は、学術部長を通して申請する。

(1) 編集委員会

- ・ 今回のシリーズは 6 月で終わるので、9 月以降からのシリーズは「臨床検査技師の認定資格」に関する内容にする。
- ・ 次年度からの会誌発行月は 3, 6, 9, 12 月に変更する。
- ・ 支部研修会テキストを作成し 4 月上旬には全会員に送付する。
- ・ 来年 (2 月から) の会誌の表紙色については青系で検討中である。
- ・ 次年度の出版社について、臨床検査関連学会誌を手掛けている 4 社について検討した。見積もりは個別発送の値段であるが、現状は施設別発送をしており、発送費は個別より 20 万程度安い。編集委員会としては金額および対応の点で日本廣業社者 (現行業者) に決定したい。

(2) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数（11月）

(No.)	(行事名)	(開催日)	(生涯教育点)	(登録者数)
1、	(生理)甲状腺疾患を考える ラボデータと画像から	11月1日	20点	73名
2、	(公益事業)検査と健康展	11月2日	20点	16名
3、	(一般)第2回都臨技一般検査研究班研修会	11月5日	20点	62名
4、	(生理)実践!平衡機能検査	11月10日	20点	55名
5、	(病理)第7回南支部学術研修会	11月11日	20点	14名
6、	(生理)第7回西支部学術研修会	11月12日	20点	34名
7、	(血液)第7回北支部学術研修会	11月13日	20点	39名
8、	(学会)第10回東京都医学検査学会	11月16日	20点	337名
9、	(生理)心疾患を診る～BNPと心エコー症例～	11月18日	20点	41名
10、	(臨床化学)第4回臨床化学検査研究班研修会	11月19日	20点	22名
11、	(病理)第6回病理細胞診検査研究班研修会	11月19日	20点	34名
12、	(免疫血清)第5回免疫血清研究班研修会	11月20日	20点	42名
13、	(微生物)第7回微生物検査研究班研修会	11月21日	20点	62名
14、	(公益事業)いたばし健康まつり	11月22日	20点	2名
15、	(免疫血清)第7回東支部学術研修会	11月25日	20点	24名
16、	(情報)電子カルテにおける統合画像ビューア	11月28日	20点	10名

(Claio)の活用方法

自己申告 会場研修

1、	微生物学英語勉強会	11月11日	基礎-10点	3名
----	-----------	--------	--------	----

2) 学会運営部

(1) 学会実行委員会

- ・第10回都臨技学会について実務委員からの意見が報告された。

3) 支部

(1) 支部業務連絡委員会

- ・支部変更申請書のひな形を理事会に提出した。

- ・平成26年度施設連絡責任者会議開催について

日時：2015年2月13日（金）19：00～21：00（受付18：30～）

場所：東京山手メディカルセンター4階講堂

意見交換会はケータリングで実施予定。

(2) フォーラム委員会

- ・平成27年3月7日（土）堀場製作所で感染症に関する講演を行う予定。

4) 地域保健共催部

- ・学生対象講演会に関して、日程は決定し現在講師の選出を行っている。

- ・健康まつり等で配布する一般都民に向けた検査技師広報用パンフレットを作成予定である。

5) 会計部

(1) 会費収入状況【平成26年11月30日現在】

	H26年度実績	前年同月実績
入会金納入者合計数	325名	357名
（入会金納入者数）	(82名)	(327名)
（減免入会金納入者数）	(0名)	(30名)
正会員会費納入者数	4,763名	4,486名
学生会員会費納入者数	119名	286名
賛助会員会費納入者数	79社	72社
未納者数	1名	8名

(2) おもな11月の事業活動収支について

◎収入

- ・事業収入（機関紙広告料） 50,000円 : トータル保険サービス広告料

◎支出

- ・事業支出（地域保健共催事業費） 49,014円 : 宅配費（ヤマト運輸着払い）
- ・事業支出（倫理高揚資質費） 173,076円 : データ標準化試料配送費
- ・管理費等

(3) その他

- ・第10回都臨技学会の会計に関して、広告未納分を賛助会員に催促中である。
- ・各部局の予算執行状況の確認が必要となるので、12月中に会計簿ファイル提出をお願いする。

6) 庶務部

(1) 会員数【平成26年11月30日現在】

	H26年	H25年度
会員数	4754名	4503名
都臨技会費免除会員	46名	
賛助会員	78社	79社

(2) 業務執行報告書について

- ・次回より書式を統一し、4月～9月、10月～3月の期間で報告する。

(3) 表彰選考委員会

- ・小島三郎記念技術賞と福見秀雄賞の推薦者が決定し、書類の作成を進めている。
- ・結核研究奨励賞は推薦候補者に打診中である。
- ・日臨技学術奨励賞「優秀論文賞」について、原著は6編あり各委員で選考中である。
- ・都臨技表彰者への贈呈記念品は検討中。都臨技学会で表彰する方向で検討する。
- ・都臨技功労者表彰リスト作成は完了した。

7) 事務局

- ・第64回日臨技検査医学会座長推薦の依頼があった。
- ・学生会員について

7月3日に参加された大学院学生（技師免許あり）が学生会員として参加登録したが、「検査技師を志す学生」が学生会員対象となるため、技師会に入会申請をお願いした。本人は入会希望ではないため学生会員証は返却してもらう。今回に限り500円で参加登録することとした。

8) 日臨技報告

- (1) 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」受講説明があった。
- ・実施期間は平成26年度から平成28年度の3年間、500名の終了者を目標とする。
- ・講習会は年1回を基本とし、場合によっては2回開催する。
- ・講習修了者には修了証を交付する。

3. 審議事項

- (1) 平成27年度会誌発行費用見積りについて
 - ・会誌発行費用を4社で見積りを取り検討した結果、日本廣業社（現行業者）に依頼する委員会案で承認された。次年度は、会誌を会員個別発送で対応することとした。
- (2) 自宅会員所属支部変更申請書について
 - ・申請書の修正がなされたため、都臨技HPに掲載することが承認された。
- (3) 平成26年度施設連絡責任者会議について
 - ・会議の開催案内、進行、出欠回答に関しては年内に施設連絡責任者へ発送することが承認された。また今回の意見交換会はゲーティングで行うことも併せて承認された。
- (4) 平成26年度新春のつどい・各賞受賞祝賀会担当について
 - ・各理事、東支部幹事2名の担当について、当日の流れも含めて最終確認が行われ承認された。
- (5) 新入会会員について
 - ・新入会会員20名の所属施設、会員歴等の確認を経て入会が承認された。
- (6) 公衆衛生検査研究班の新幹事2名追加願いについて
 - ・本来であれば新幹事に関しては業績の提出が必要であるが、後日提出することで承認された。
- (7) 後援名義使用許可申請について
 - ・東京都臨床工学技士会より都民公開講座（肺の健康）における当会の後援名義使用許可申請は承認された。
- (8) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会について
 - ・講習会修了者には、修了証が授与される。今後、講習会の開催は年間1回若しくは2回開催を予定で承認された。
- (9) 役員選出委員の選出について
 - ・各支部より2名選出する。また、選出された委員は他の委員会との兼任はできないものとする。
 - ・選挙管理委員も含めて理事会へ提出し承認を得るものとする。
- (10) 日臨技より技師連盟バナー掲載の依頼について
 - ・技師連盟の会員周知のため、都臨技HP内にバナー設置することについて承認された。
 - ・このバナーによって都HP上で入会案内も可能となる。

4. その他


- (1) 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について
 - ・次年度4月以降は都内で月2回程度、年間20回の開催を予定している。

- ・主に関東甲信地区における約1万6千人の会員を対象に実施する。
 - ・実務責任者は日臨技理事が担当し、実務委員は都臨技理事、幹事、一般会員から選出することとする。
- (2) 検体採取技術教本作成について
- ・全国の臨床検査技師に執筆のお願いをする。また、都臨技理事、幹事にも執筆依頼をする予定である。
- (3) 平成27年度事業・予算案について
- ・予算要求は次年度の事業コンセプトを明確にするも必要があり、各部局は事業計画に基づいて要望するものとする。
 - ・公益社団法人としては、予算の事業執行率を上げなければならない。繰越金の増大は回避すべきである。
- (4) 会費未納者に対する退会処理について
- ・会費未納者に対し日臨技と整合性を取るため、5月末で自動退会処理を行うことを次回決算総会で提案し、定款改定する方向で検討する。
- (5) 検体採取に関する講習会は都臨技HPのトップページへ掲載することについて
- ・都会員への周知を行うためにも都臨技HPに掲載し、積極的な講習会参加に繋げる。

平成26年12月17日(水)

公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長
(千葉)

千葉正志 

監事
(東海林)

東海林 治三郎 

監事
(立花)

立花 勇一 